

お元気ですか

南 恵子

です

発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



大井ふ頭等の 大震災に備え 液状化対策と耐震化を求める

いつ起きてもおかしくない大震災への備えは重要で緊急な問題です。3・11東日本大震災時、浦安では大規模な液状化が起きました。品川の大井ふ頭には火力発電所や清掃工場などがあるので、液状化の対策や各施設の耐震化はどうなっているのかなど議会で質問しました。報告します。

火力発電所や清掃工場などの耐震性はどうか

東日本大震災では気仙沼のコンビナートなどで火災が発生し、長時間にわたって燃え続けたのは記憶していると思います。

大井ふ頭にはコンビナートはありませんが、火力発電所や清掃工場などがあり、火災が発生すると長時間燃え続けることになるでしょう。

そうなると八潮や東品川地域などに大きな影響が広がるのではないかと心配になります。そこで、南はこれらの施設の耐震化について質問しました。

耐震化について、大井火力発電所は平成17年あたりに、品川清掃工場は改築竣工した平成18年に終了していることがわかりました。また品川清掃工場の焼却炉は加速度センサーが設置してあり、震度5以上で停止することになっ

ているといえます。

火力発電所のパイプライン対策はどうか

火力発電所では海外から運ばれた重油を燃やして発電しますが、タービンまでパイプラインで送ります。そのタービンの耐震化は重要です。

そこで、きちんと対策がとられているのか質問しました。

パイプラインは、地上配管と地下にも配管がありますが、菅の継ぎ手は伸縮やずれに対応できる伸縮継ぎ手になっています。また、菅を固定する方法は振動やずれを緩和するダンパという装置によって支えられていることがわかりました。取りあえず安心？

ここまでではわかったのですが、ふ頭そのものが大きな地震動にどこまで耐えられるのかは疑問です。国や東京都の所管のため、納得できる答弁がありませんでした。引き続き取り組みます。

液状化対策

衆議院災害対策特別委員会

共産党 高橋千鶴子議員

11月14日、衆議院災害対策特別委員会が開かれ、日本共産党の高橋千鶴子議員が液状化対策を取り上げましたので紹介します。

長周期地震動は高層ビルの上層階ほど振幅が3mにもなります。これが液状化を起こして様々な被害を出しています。高橋議員はどう備えるべきかと質問。

早稲田大学理工学術院の濱田政則教授は、東日本大震災の液状化は臨海部コンビナート地帯など民間事業者の土地を政府が調査していないため、十分なデータが得られていないと指摘して、「地盤をいかに補強するのか、政府がどの

ように補助していくのかなどの制度設計も重要」と発言して、政府による取り組みを強化する必要性をのべました。

また、高橋議員は「測候所の廃止や観測機器の高性能化がすすむ中で、人の役割をどう考えるか」と質問。

東京大学地震研究センター長の平田直さんは、「長い間隔で発生する自然災害に備えて」研究者、技術者、行政の防災担当者の技術や知見を継承することが重要」と答弁しました。行革で必要な人材を削り、技術が継承されない事態に、いま、行政の中で慌てています。命や財産を守る姿勢を取り戻したいですね。

11月21日から区議会がはじまりました

11月21日の一般質問は、いいぬま雅子幹事長が行いました。

- テーマ
- 1、国民の知る権利を奪い「海外で戦争する国」づくりを狙う秘密保護法に反対を
 - 2、イチョウ並木を壊す放射2号線などの道路計画は白紙に戻し 住民参加で防災対策を
 - 3、防災を口実にした武蔵小山、大井一丁目南地区開発など 区民が望まない超高層ビルは止めよ
 - 4、病院、区役所、商店街に行ける新たなバス路線とコミュニティバスの運行を
 - 5、財源も土地もある 区民要望の認可保育園・特養ホーム・障害者施設など計画的に増設を

11月25・26日は総務・区民・厚生・建設・文教の各常任委員会があります。請願や陳情を提出した関係者には傍聴していただきたいですね。

25日の午前中に議題になるのではないかと思います。（事務局に問い合わせてください）

11月27日は行革特別委員会。28日は震災対策特別委員会。

生活・雇用・子どもだて

連絡先

教育など何でもお気軽に（ご）相談ください
南恵子区議会議員

電話（3790）

1523